

2010年12月20日

各 位

株式会社 **ブルボン**

ブルボン 新春スペシャル番組のご案内

2011年1月3日(月) BS-TBS 14:00~放送

番組名：大英博物館から甦った幻の古浄瑠璃 東京見参!!
— 越後国・柏崎 弘知法印御伝記 —

当社は、2010年10月30日と31日の両日、325年ぶりに東京で公演された古浄瑠璃「越後国・柏崎 弘知法印御伝記」の新春スペシャル番組を1社提供いたします。

幾多の人々の熱い想いに支えられて、東京での公演に至った道のりと、復活公演を古浄瑠璃の魅力に面白さを交え、ドキュメンタリータッチで紹介いたします。

【古浄瑠璃「越後国・柏崎 弘知法印御伝記」ご案内】

2009年6月、新潟県柏崎市で復活初演された古浄瑠璃「弘知法印御伝記」は、1963年当時にケンブリッジ大学で教鞭をとられていた鳥越文蔵先生の大英博物館での古文書発見と翻刻出版、コロンビア大学名誉教授ドナルド・キーン先生の上演提案により実現しました。

1685年に江戸孫四郎により日本橋で公演されたと言われてはいますが、その後、台本が長崎から海外に持ち出され、日本に現存しない幻の古浄瑠璃となっていました。

古浄瑠璃や初期の義太夫節は、口伝で継承されてきたため、譜面が無く、復曲して演奏することは極めて難しい作業となりました。学術的な研究に加えて、経験豊かな実演家が創造力と創作力を働かせて、新たに作譜することが求められました。

ドナルド・キーン先生の示唆を得て、古浄瑠璃の流れを汲む佐渡市の文弥節などを参考に、ともに文楽の舞台を経験している新潟市在住の越後角太夫氏と佐渡市在住の西橋八郎兵衛氏が率いる越後猿八座が、庶民の心情を素直に表す、素朴で力強い詞章や物語の構成など、古浄瑠璃の魅力を見事に再現しました。



以 上